NO １３３
平成２９年 ６月１５日

北海道砕石だより

一般社団法人日本砕石協会北海道地方本部
札幌市中央区南１条西１０丁目　☎011-241-4579

≪開会のご挨拶≫岡本繁美北海道地方本部長

西村耕一会長(日砕協)

ご祝辞をいただきました

経産局田口課長補佐

労働局工藤安全課長

道経済部高柳主査

平沼議長お疲れ様でした

平成二十九年度　通常総会特集号

一般社団法人日本砕石協会北海道地方本部通常総会開催

(一社)日本砕石協会北海道地方本部の通常総会が、5月24日(木)、午後4時から札幌東急ＲＥＩホテルにて北海道経済産業局資源・燃料課田口課長補佐、北海道労働局工藤安全課長、北海道経済部環境エネルギー室高柳主査をはじめとする監督官庁や関連団体から多くの御来賓を迎え開催しました。日砕協本部からは西村会長と友田専務理事に御臨席いただき、会員賛助会員総勢105名により盛会に開催しました。

岡本本部長は総会開催にあたり、「昨年は3月に北海道新幹線が開業し、北海道活性化の波が道南から道内各地へ広がっていくことを期待して始まりましたが、道内の砕石需要は後半に一部持ち直しの動きが見られたものの全体として需要拡大に結び付かず、生産量は９７４万トンと、６年ぶりに１千万トンを割る厳しいものとなりました。また、大きな自然災害が多発し地域社会の安全を守るインフラの着実な整備の重要性を改めて認識する年でもありました。

北海道の活力を伸ばすためには道内産業の成長をしっかり支える社会基盤整備づくりがかかえないところです。自然災害に強い安全な北海道の大地をしっかり守っていくことも必要です。

我々砕石業界は社会基盤整備に不可欠な砕石の安定供給をしっかり担い、いくらかでも北海道の発展に貢献していかなければなりません。そのため、生産性の維持向上や経営の安定化に不断の努力が求められています。

当面の重要課題である労働安全の確保はもとより、生産技術の効率化、人材の育成確保、適正単価の維持、など様々な課題があります。

本年度も、様々な課題に対し、日本砕石協会本部及び関連団体との連携を深めながら、会員一丸となって取組んで行ければと考えます。

本日の総会では、向う一年間の事業計画等を提案させて頂きます。熱心な審議をお願いし、総会開催にあたっての挨拶といたします。」と結ばれ、このあと、議長に平沼副本部長指名し議案審議の結果、原案通りすべて承認されました。

※役員は次の通り

【任期満了役員改選】新役員

本部長	岡本繁美	札幌
副本部長	宮本義久	小樽
〃	平沼昌平	函館
〃	天方　實	釧根
会計理事	青木　伸	札幌
〃	河合道明	小樽
理事	藤野徹弥	札幌
〃	五十嵐正幸	旭川
〃	田中敏夫	旭川
〃	粥川照雄	稚内
〃	佐藤和浩	函館
新 〃	湯浅勝美	網走
新 〃	河野俊一	釧根

一般社団法人日本砕石協会
定時総会（東京都）

平成29年度（一社）日本砕石協会定時総会が6月1日（木）東京都新宿区京王プラザホテルで、会員・賛助会員多数出席のもと開催されました。

西村会長は開会にあたり、「経産省の統計によれば昨年度の砕石需要は若干増加しているが、業界内の感触とすれば未だ低迷している。砕石業界は、物流関係の改善、適正価格の確保など、しっかり取り組むべき課題がある。若い人に入ってきてもらうためには、死亡災害の撲滅、就業条件の改善など、業界のイメージアップを図る必要がある。各地方組織と共に活動を展開し、軽油引取税免税措置の期間延長をはじめ、諸課題に取り組んでいきたい。」との挨拶がありました。

西村会長が議長となり、すべての議案が原案通り承認され、任期満了による役員改選では、13名の理事と2名の監事が選出されました。

北海道地方本部からは、岡本繁美本部長、宮本義久副本部長、平沼昌平副本部長の3名が理事に再選され、その後の理事会において役員の互選が行われました。会長の西村耕一氏、副会長の岡本繁美氏、才田善之氏は留任、新たに三浦孝次郎氏（東北地方本部長）が加わり、専務理事に友田正敏が就任しました。

総会には、北海道地方本部から岡本本部長、宮本副本部長、藤野理事、安室事務局長が出席しました。

北海道国有林採石協会
通常総会開催

平成29年第38回通常総会は5月24日（木）午後2時から札幌東急REIホテルにて、北海道森林管理局の渕上局長と恒松資源活用第一課長を来賓に迎え開催しました。

辻会長は総会開催にあたり、「渕上局長、また森林管理局・署の皆様には、日頃協会及び会員に対してご指導ご支援を頂き、厚く感謝申し上げます。

昨年の砕石需要は後半に一部持ち直しの動きが見られたものの、全体として砕石の需要拡大に結び付きませんでした。また、大きな自然災害が多発し地域社会の安全を守るインフラ整備の重要性を改めて認識する年でした。

採石業を担う者として、社会基盤整備に欠かせない基礎資材をしっかりと供給し、北海道発展に貢献していかなければならないと考えているところです。

会員の皆様は、需要先の開拓、原石山の確保、防災・保全対策、労働安全対策などに取組まれていますが、特に、国有林の中で事業を営むものとして、森林管理署の指導を受けながら、他の模範となるよう、自然環境に配慮した採掘や採石跡地の整備・緑化などに努め、地域社会から認められる事業実施に取組んで行かなければなりません。

協会といたしましては、全国国有林採石協会、また日本砕石協会北海道地方本部との連携を図りながら、引き続き会員の皆様のご努力を支援して参りたいと考えております。

また、本日は、熱心な審議をお願いします。」と結び、議長に藤野理事を指名し議案審議の結果、原案通りすべて承認されました。

※役員改選の結果は次の通り。

【任期満了役員改選】新役員

会長	辻　庄嗣	
副会長	岡本繁美	
〃	中村辰夫	
〃	藤野徹弥	
新 理事	山本浩平	
〃	粥川照雄	
〃	美田和夫	
〃	瀧澤忠一	
〃	星加範保	
新 技術担当理事	源田茂男	(員外)
専務理事	安室正彦	(員外)
監事	小岸芳行	
〃	岩田満輝	

全国国有林採石協会
通常総会開催される

平成29年度全国国有林採石協会通常総会が6月2日(金)、東京都千代田区ホテルメトロポリタンエドモンドで開催されました。

総会は辻副会長の開会挨拶で始まり、来賓には、林野庁の吉村業務課長をはじめとする幹部をお迎えしました。

塚田会長は挨拶で、「当協会は社会資本の整備に不可欠な基礎資材である砕石を安定的かつ継続的に供給する等、地域の発展や公共の福祉に寄与してきたところです。

国有林野内で事業を展開している当協会は、公益的機能の発揮をより重視した森林整備を進める国有林野事業の経営方針のもと、他の模範となる自然環境に配慮した事業の実施と跡地の緑化を積極的に行って頂きたい。」と結ばれました。

総会には北海道国有林採石協会から辻会長、藤野副会長、安室専務理事の三名が出席しました。

なお、通常総会に先立ち、塚田会長、辻副会長、中田副会長により、農林水産省庁舎において林野庁に対する要望活動を行いました。

北海道砕石協同組合連合会
通常総会開催

平成29年第31期通常総会は5月24日(水)札幌東急REIホテルにて午後三時より、北海道中小企業団体中央会から玉田企画情報部長を来賓に迎え、開催されました。

岡本会長の開会挨拶では、「本年8月、当連合会は、昭和62年の設立から30年の節目を迎えます。当時の道内砕石生産量は現在の1.6倍ほどで、需要は上昇基調にありましたが、経営面では、市場分野の調整、適正価格の維持、災害防止準備金制度の運用、構造改善の対策など、連合組織の設立の必要性が求められ、創立メンバー8組合でのスタートでありました。

その後、砕石生産量は平成8年にピークを迎えて以降、ここ数年はピーク時の5割を下回る状況となり、また、道路用砕石のシェア低下、リサイクル推進法の導入といった需要構造の変化や、品質の確保要求の高まりなどへも対応が求められるようになってきています。

砕石の安定した供給は、北海道の社会基盤整備になくてはならないものであり、我々砕石業がしっかり担っていかなくてはなりません。30年の節目を迎え、諸先輩方の思いと成果を引き継ぎつつ、皆で力を合わせ種々の課題を乗り越えながら、今後とも組合事業及び連合会活動の着実な発展を期したいと思います。

今年度におきましても連合会傘下の各組合のご理解、ご協力をお願いし、総会に当たっての挨拶といたします。」と結び、議長には河合副会長が選出され、提案されたすべての議案が原案どおり承認されました。

※役員改選は次の通り。

【任期満了役員改選 新役員】

会長	岡本繁美	
副会長	河合道明	
理事	曽我部喜市	
〃	五十嵐正幸	
〃	粥川照雄	
〃	平沼昌平	
〃	青木　伸	
〃	湯浅勝美	
〃	藤野徹弥	新
専務理事	安室正彦	新
監事	室野邦宏	
〃	岸本教範	

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

平成29年5月24日(水)17時15分～

≪三団体合同懇親会≫

※新役員の中から急遽、副本部長、副会長になられたお二方に、ご挨拶をいただきました。

◎日砕協道本部・副本部長

天方　實様

◎国有林採石協会・副会長

藤野徹弥様

『死亡労働災害の撲滅にむけて』

北海道労働局によると、死亡労働災害の増加傾向が続いています。これは大変憂慮すべき状況であり、4月28日には、北海道労働局長をはじめ、建設業労働災害防止協会、陸上運送事業労働災害防止協会などの関係者により、「緊急共同宣言」が出されました。

労働災害防止は日々取り組むべき重要課題です。安全活動の充実強化に取り組んでいただくようお願いします。

『緊急共同宣言』

北海道労働局管内では、平成28年の死亡労働災害が77人と前年に比べ12人増加し、今年に入ってからも3月末までに18人と前年に比べ5人の増加と、極めて憂慮すべき状況にある。このまま推移すれば、平成25年から29年までの間で取り組んでいる「第12次労働災害防止計画」に定めた目標の達成は困難である。

職場において尊い人命が失われることはあってはならない。

行政と労働災害防止に取り組む関係者が一丸となって、北海道における死亡労働災害の撲滅に総力を挙げて取り組むことを宣言する。

第14回北海道砕石技術研究会開催

開 催 日　平成29年9月14日(木)
開催場所　札幌東急REIホテル

道本部では、北海道砕石協同組合連合会と北海道国有林採石協会との共催で第14回「北海道砕石技術研究会」を開催いたします。

内容は、会員及び賛助会員からの発表に加え山間地におけるドローン活用について北海道森林管理局、砕石資源について道立地質研究所からの特別講演を計画中です。プログラムが固まり次第、みなさんにご案内いたしますので、多数ご参加お待ちしております。

平成29年度採石業務管理者試験日
日時　平成29年10月13日（金）
受験テキスト（問題集と参考書）発売中
① 平成29年度採石業務管理者試験の問題と解説
② 採石業務管理者試験の受験テキスト
㈱日本砕石新聞社　電話03-3256-1739
※業管試験前準備講習会は今年ありません。

「軽油引取税課税免除措置の期間延長要望」

4月19日、道本部と連合会は、軽油引取税免除措置の恒久化・期間延長の要望を行いました。

免税措置は、平成27年に3年間延長され、今年度末に期限切れを迎えることとなっています。鉱物（岩石及び砂利を含む）の掘採事業における免税は、北海道（平成27年度）では、48千kℓ 15億4千万円になっており、砕石事業にとって免税が廃止されると大きな影響があります。

当日は、岡本本部長・会長が北海道砂利工業組合の小澤理事長と共に、北海道経済産業局、北海道、北海道中小企業団体中央会に出向き、骨材業界の厳しい経営環境を説明するとともに、連名の要望書を手交し免税措置期間延長の実現をお願いしました。

平成29年度安全標語「入選」おめでとうございます

佳作

ちょっと待て！　手を出す前に
まず確認　慣れと油断は　事故のもと
指差呼吸で安全確認

岡本興業㈱　野村正博

平成29年度 安全スローガン

リスクアセスメントの実施と充実で災害リスクの低減を図ろう！

経験の浅い従事者への安全教育の実施と充実で災害を未然防止しよう！

（一社）日本砕石協会

「編集後記」

今回の砕石だよりは「総会特集号」をお届けいたします。

今年九月十四日に、第十四回北海道砕石技術研究会を開催いたしますので、多くの会員の皆様のご参加をお願いいたします。

また、発行にあたり、各支部・組合からの情報提供を心よりお待ちしております。

編集事務局一同